

長崎OMURA室内合奏団

ニューイヤークンサート2021

長崎OMURA室内合奏団

長崎県央に位置するシーハットおおむら(さくらホール)を拠点に、プロの室内オーケストラとして、県内在住及び出身演奏家等を中心に2003年結成、迫昭嘉(ピアノ)を音楽監督として始動。2009年よりアーティストック・アドバイザーに松原勝也(ヴァイオリン)を迎え、さらなる演奏力や音楽性の向上に努めながら質の高い室内オーケストラを目指している。

2004年4月の正式発足以来、県内各地でコンサートを展開し、2005年に韓国において初の海外公演を成功させる。世界的チェリスト“アントニオ・メネセス”、ヴィオリスト“今井信子”、オーボイスト“ハンスイェルク・シエレンベルガー”とも共演。

青少年育成事業として、スクールコンサートや弦楽セミナーも積極的に行っている。

2015年5月に紀尾井ホールにて東京公演、2018年9月にFFGホールにて福岡公演を開催。第25回長崎県地域文化章受章。シーハットおおむらの平成22年度「地域創造大賞(総務大臣賞)」受賞にも大きく寄与した。平成26年度「県民表彰優良団体(教育文化)」を受賞。2015年第2回JASRAC音楽文化賞受賞。2018年より認定特定非営利活動法人長崎OMURA室内合奏団となる。2019年6月日本オーケストラ連盟準会員加盟。



大高レナ ソプラノ (Rena Otaka / Soprano)

14歳より釜洞祐子氏の元で声楽をはじめ。東京音楽大学付属高等学校を特待生として卒業。卒業時、実技優等賞受賞。現在、東京音楽大学4年声楽演奏家コースに特待生として在学中。第70回全日本学生音楽コンクール声楽部門高校の部 東京大会に於いて第2位、全国大会に於いて、第3位及び横浜市民賞(聴衆賞)受賞。第72回全日本学生音楽コンクール声楽部門大学の部 全国大会に於いて、大学の部の名称になって以来での最年少優勝を果たす。併せて横浜市民賞(聴衆賞)、かんぼ生命奨励賞、日本放送協会賞を受賞。甲子園球場にて三菱電機杯第73回毎日甲子園ボウル開幕式、東京ドーム球場にて第90回都市対抗野球大会開会式で、それぞれ国歌独唱を担う。明治安田生命クオリティオブライフ文化財団奨学生。現在、釜洞祐子、大村博美、藤牧正充の各氏に師事。